

屋野 晴香 ピアノリサイタル

～ 室内楽企画「ピアノとヴァイオリンの二重奏」～



L. v. ベートーヴェン：

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第3番 op.12-3

R. シュトラウス：

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ op.18

ほか



ピアノ 屋野 晴香

2024

9/13 (金)

開演 19:00
(開場 18:30)

ヴァイオリン 永ノ尾 文江

兵庫県民会館 けんみんホール

JR/阪神「元町駅」より北へ徒歩7分
地下鉄「県庁前駅」東1・2出入口すぐ

◆チケット(全席自由)

・大人 3,000円
・学生(25歳以下) 2,000円

* (公財)兵庫県芸術文化協会友の会会員様は10%割引です。
* 学生券はご購入時に学生証をご提示ください。
* 会場には小学生以上の方がご入場頂けます。

◆チケット取扱い

・兵庫県民会館1階フロント TEL: 078-321-2131
・屋野晴香 ウェブサイト: www.haruka-yano.com

◆お問い合わせ

・(公財)兵庫県芸術文化協会 TEL: 078-321-2002 / e-Mail: contact@haruka-yano.com

■主催: (公財)兵庫県芸術文化協会 / ひょうごアーティストサロン

■後援: 兵庫県立西宮高校音楽科同窓会「音華会」/ 東京藝術大学音楽学部同声会 / 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

■協賛: (一財)みなと銀行文化振興財団

■協力: (公財)兵庫県音楽活動推進会議 / 兵庫県いけばな協会

～ようこそ、室内楽の世界へ～

ピアノという楽器に出会って以来、はじめて「室内楽」に出会い、作品を演奏する機会を得たのは、何年も経ってからのことでした。母校の兵庫県立西宮高校音楽科へ入学して以来、それまでピアノソロのための作品のほか、発表会のため数曲のピアノ連弾に取り組むことしか経験がなかった私にとって、大幅に増えたアンサンブルの機会は、とても新鮮で魅力的な新しい世界でした。

その魅力にとりつかれた私は、その後東京での大学生活を終えてすぐ、ウィーン国立音楽大学のピアノ室内楽（独：Klavierkammermusik）専攻を選んで留学し、仲間とともにリハーサルやコンサートに明け暮れる、宝物のようなアンサンブル三昧の日々を過ごしました。このたび、「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」に選出して頂きましたことを機に、ずっと構想をあたためてきた自らプロデュースするピアノ室内楽シリーズを開始することにいたしました。

企画の記念すべき第一回となる今回は、同じ時期にウィーン国立音楽大学で研鑽を積まれていたヴァイオリニストの永ノ尾文江さんをお迎えし、両作品とも変ホ長調で書かれた、ベートーヴェン、そしてリヒャルト・シュトラウスのソナタ2曲をメインとしたプログラムで「ピアノとヴァイオリンの二重奏」をお届けいたします。

永ノ尾さんと初めてお会いしたのは、師事していた先生のピアノ室内楽クラスの演奏会に、先輩ピアニストと出演されていたときのこと。迫力ある熱演のなかに、全身で音楽を楽しみ天真爛漫に奏でている姿に心を奪われ、以来ずっと憧れの音楽家です。永ノ尾さんとともに作り上げる「ピアノとヴァイオリンの二重奏」の世界を、皆様とともに楽しめますことを願い、心よりご来場をお待ちしております。

屋野 晴香

プロフィール



屋野 晴香

Haruka YANO

兵庫県立西宮高校音楽科、東京藝術大学音楽学部楽理科を卒業後、ウィーン国立音楽大学器楽科にてピアノ室内楽を

専門に学ぶ。同大学院修士課程を修了。演奏のほか全日本ピアノ指導者協会PTNAピアノステップ・アドバイザー、東京藝術大学音楽学部教育研究助手として後進の育成にあたる。ピアノを植田定和、岡田敦子、故・片岡みどり、Avo Kouyoumdjianの各氏に師事。



永ノ尾 文江

Fumie EINOO

桐朋学園大学卒業。ウィーン国立音楽大学にて研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール、ヴァクラフ・フムル国際コンクール、リスボン国際音楽コンクール入賞。現在、ソロや室内楽をはじめ、オーケストラの客演首席奏者として活動している。相愛大学、相愛高校音楽科非常勤講師。

兵庫県民会館 けんみんホール

JR/阪神「元町駅」より北へ徒歩7分
地下鉄「県庁前駅」東1・2出入口すぐ

神戸市中央区下山手通4丁目16-3 TEL 078-321-2131

